

平成20年度中山間地域等直接支払交付金交付評価表(集落別)

1	市町村名	芦別市	2	集落数名	芦別集落	3	認定年度(変更)	H17(H19)	4	協定参加者	310
5	交付面積 〔地目・基準〕	1,134.4 ha 〔田・緩〕	501.5 ha 〔田・急〕	198.3 ha 〔畑・緩〕	146 ha 〔草・緩〕	3.3 ha 〔畑・急〕	2.1 ha 〔草・急〕	計	1,985.6 ha		
6	交付金総額(円)	年度	交 付 額	共同取組活動分 前年度繰越額を含む	共同取組活動の実績 当年度積立額を含む	繰 越 額					
	共同取組活動充当割合(H20) (51%)	H17	208,004,574	106,327,000	106,327,000	0					
		H18	208,004,574	105,534,000	105,534,000	0					
		H19	208,004,574	105,534,000	105,534,000	0					
		H20	208,004,574	105,811,000	105,811,000	0					
	() 通常単価、() 8割単価	計	832,018,296	-	-	-					
7	集落マスタープランにおける集落の現状と将来像を実現する目標(主要な重点項目)										
	項 目	取 組 内 容	H21目標	H20までの実績	区分	評価 判定	評 価 の 理 由				
	担い手の育成	・ 農業経営等を審査し認定農業者としての資格取得を支援する。	100名	116名	H20までの実施状況		既に目標を達成している。このまま各年度毎の活動計画に従って順調に進めていく。				
		・ 農作業受託体制を整備し作業の効率化を図る。	107ha 130ha	172ha	H21目標の実施見込み						
	生産性・収益向上	・ 栽培に向け現地研修を実施し、本格的な栽培方法を確立する。	0ha 1ha	0.6ha	H20までの実施状況		各年度毎の活動計画に従って順調に進んでおり、21年度には目標を確実に達成できる。				
		・ 市指定の振興作物に対し規模拡大に向けた生産組織へ助成している。	1.3ha 2ha	2.2ha	H21目標の実施見込み						
		・ 機械・施設等導入し共同利用・共同作業の推進を図る。	13組合 5組合	13組合							
	多面的機能の発揮	・ 市内の小学校と協定を締結し、3～6年生までの農作業体験を実施農業に対する理解を深める。	1校	1校	H20までの実施状況		既に目標を達成している。このまま各年度毎の活動計画に従って順調に進めていく。				
					H21目標の実施見込み						
8	20年度までの実施状況についての評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集落の体制維持に関する経費及び事務費等について前年より節約できた。 ・ 農地の法面・水路・農道の草刈り、水路の泥上げ、農道整備、シカ対策電気柵設置等の保全対策が実施できた。 ・ 共同農業機械の購入により、生産性・収益向上が図られた。 ・ 学校教育との連携を図るため協定書を締結し、小学3～6年生までの農作業体験農園が実施された。 									
9	21年度目標の実現にむけての取組の方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既に目標を達成している項目については、更なる実施内容の充実を図る。 ・ 達成が見込まれる目標については、確実に達成できるよう実施内容の充実を図る。 ・ 学校教育の小学3～6年生までの農作業体験農園については、更なる内容の充実を図る。 									

注2) 1～7の太い線で囲んだ箇所については、集落代表者若しくは集落事務局が記載してください。

注3) 7の「評価判定」と「評価の理由」及び8・9については、市町村が記載してください。

注4) この様式は2枚以上になってもかまいません。

平成20年度中山間地域等直接支払交付金交付評価表(集落別)

1 市町村名	芦別市	2 集落名	芦別集落	3 認定年度(変更)	H17(H19)	4 協定参加者	310 名	
項目	取組	内容	具体的内容・交付金の使途	20年度交付金の支出内容・金額(円)				
11集落の管理体制に係る報酬	役員報酬		代表・事務局長(各1名)	報酬 100千円 × 2名	200,000			
			副代表・監査(各2名)	報酬 70千円 × 4名	280,000			
			会計(1名)	報酬 70千円 × 1名	70,000			
			地区役員(班長)	報酬 50千円 × 27名	1,350,000			
			(副班長)	報酬 50千円 × 28名	1,400,000			
			(副班長)	報酬 30千円 × 1名	30,000			
			(副班長)	報酬 25千円 × 1名	25,000			
			(会計)	報酬 50千円 × 24名	1,200,000			
(会計)	報酬 20千円 × 1名	20,000						
小計				4,575,000				
12農業生産活動費として取り組むべき事項 (1)農用地に関する事項	農地点検管理		対象農地点検・法面草刈	労賃 10千円 × 839.2名	8,392,000			
			電気牧柵の維持管理	労賃 10千円 × 156名	1,560,000			
	(2)水路・農道等の管理方法	水路農道清掃		水路清掃・草刈	労賃 10千円 × 570名	5,700,000		
				農道清掃・草刈	労賃 10千円 × 542名	5,420,000		
	(3)多面的機能を増進する活動	農村環境整備		ミントの定植	労賃 10千円 × 119名	1,190,000		
				畑地帯に景観作物作付け	資材・苗代等	610,275		
				種子代	988,576			
				廃屋・農機具の撤去	処理委託費	265,500		
				集落会館周辺整備	労賃 10千円 × 41名	410,000		
				資材・苗代等	47,383			
道路沿整備・清掃等	労賃 10千円 × 56名	560,000						
資材・苗代等	560,000							
古タイヤ処理	処理委託費	349,177						
プランター設置	490,600							
小計				26,143,511				
13農業生産活動等の体制整備として取り組むべき事項 (1)農用地等保全マップ活動の実践	水路、農道等の補修改良		法面・畦畔補修	工事委託費	100,000			
			基盤・暗渠排水整備	工事委託費	9,731,940			
			用排水路補修・改良工事	工事委託費	17,197,450			
	農地整備			トラフ・管資材費	725,235			
				設置労賃・重機借上料	990,000			
				砕石代	3,439,360			
鳥獣害防止対策			シカ対策電気牧柵設置	資材購入費	4,039,418			
				労賃 10千円 × 70.5名	705,000			

(2)生産性、収益の向上に関する取組活動	共同利用機械の購入等	アライム捕獲罟設置	捕獲罟購入費	291,600		
		融雪剤散布機購入(5台)	398,048 千円 × 5 台	1,990,242		
		除雪機購入	452,526 千円 × 1 台	452,526		
		防除機購入	711 千円 × 1 台	711,000		
		溝切・畦塗・草刈機購入(2台, 2台, 30台)	機械購入費	1,611,600		
		草地管理用機械購入(1台)	244 千円 × 1 台	244,000		
		走行草刈機購入		2,524,000		
		共同利用施設の整備等	格納庫、育苗ハウス	資材購入費	191,334	
			花き・メロンハウス	資材・設置費	6,230,130	
		共同利用経費	融雪剤作業ヘルメット費	労賃 10 千円 × 120.9 名	1,208,900	
			融雪剤散布	資材費	4,041,671	
		新規作物導入	耕起・収穫の共同作業		530,000	
			新規作物導入費		2,370,139	
			機械維持管理費	修理費等	832,908	
			農作業機械費(除雪機,防除機等)	リース代費用	1,918,900	
		(3)担い手の定着に関する取組活動	受委託体制整備	汎用コンバイン購入(2台)		2,000,000
				乾燥機等購入(6基)	568 千円 × 6 台	1,520,000
			認定農業者育成	共同防除体制整備助成	委託費用	7,462,923
(4)多面的機能の発揮	学校教育との連携	現地研修会	宿泊費	493,000		
		農業講座講師謝礼等	講師謝礼費	914,750		
		体験農業準備費	資材費	347,107		
小計				74,888,133		
14積立・繰越等	積立					
	繰越					
				標準様式1-1の6の繰越額と一致します。		
小計				0		
15その他	会議費	用紙・使い捨てカメラ・現像等		204,356		
	担当者活動経費					
	事務費					
小計				204,356		
計				105,811,000		
16交付金の使途等に関する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・集落の体制維持に関する経費及び事務費等について前年より節約できた。 ・農地の法面・水路・農道の草刈り、水路の泥上げ、農道整備、シカ対策電気柵設置等の保全対策が実施できた。 ・共同農業機械の購入により、生産性・収益向上が図られた。 ・学校教育との連携を図るため協定書を締結し、小学3～6年生までの農作業体験農園が実施された。 					